

DOCUMENT-No.	CONTENTS AND COMPLEMENT	A1.	B2./C3./C4.
1 NEC:SBB-T-5048	サブクロックを使用するとLCD(S0~3)の出力ができない。(μPD753108)		-
2 NEC:SBB-T-5048	SOSレジスタのリード/ライトができない。(μPD750008)		-
3 NEC:SBB-T-5048	SOSレジスタのリード/ライトができない。(μPD753017)	×	×
4 NEC:SBB-T-5048	INT2による外部割り込みができない。(μPD753108)		-
5 NEC:SBB-T-5048	タイマ0,1のCP設定(ix/22)ができない。(μPD754304)		-
6 NEC:SBB-T-5048	割り込み許可(EI)状態でA/D変換を行うと変換結果が不正になる。(uPD753036、uPD750068、uPD754264)		-

SCREEN DEBUGGER : NS - 75XL

DOCUMENT-No.	CONTENTS AND COMPLEMENT	A1. (V1.0)	B2/B3 (V1.1)
1	SPR - P上のSBSレジスタ(SBS3以外)に正しいデータが書けない。 (SBS3のエミュレーションが出来ないのは制限事項)		-
2	データメモリセーブをコマンドラインから行うと、2回目以降に"stack overflow"が発生する。	×	×

- : No problem
- : Bug (Corrected by version upgrade)
- × : Bug (Not corrected by version upgrade)

Windows DEBUGGER : P - ND75XL / Win

DOCUMENT-No.	CONTENTS AND COMPLEMENT	A1. (V1.0)	B2. (V1.1)	D4. (V2.1)	E5. (V2.2)	F6. (V2.3)
1 ASM-97-095	P-ND75XL/Winが以下の状態の時にウィンドウの大きさを変更するとハングアップします。			-	-	-
2 ASM-97-095	各ステージにおけるアドレスの入力は、メモリ空間のエリアを越えた指定ができますが、実際の設定値はメモリ空間エリアを超えた部分がマスクされた値となります。		-	-	-	-
3 ASM-97-095	各ステージにおけるデータの入力は、データサイズを超えた指定ができますが、実際の設定値は、データサイズを超えた部分がマスクされた値となります。		-	-	-	-
4 ASM-97-095	リアルタイムRAMサンブラをONにしてプログラムを実行するとハングアップする事があります。		-	-	-	-

5	ASM-97-095	<p>以下の状態の時、各ウインドウの表示データのリンクがとれません。</p> <p>(1)データメモリウインドウ(BRK中)</p> <ul style="list-style-type: none"> 汎用レジスタのエリア(0h~1Fh)は、レジスタウインドウで変更した値が反映されません。 一度、全く異なるアドレスを表示して汎用レジスタのエリアを再表示すると反映されます。 汎用レジスタのエリア(0h~1Fh)は、データ変更操作ができますが、実際のレジスタ値として設定は行われません。 RBE = 1、レジスタバンク3の時のXAレジスタエリアにHLレジスタエリアの値が表示されることがあります。 <p>(2)コードウインドウ/コード1ウインドウ(BRK中)</p> <ul style="list-style-type: none"> メモリウインドウ上で変更されたメモリ(ROM)データに合わせたコードが表示されません。 <p>(3)レジスタウインドウ</p> <ul style="list-style-type: none"> RBE = 1、レジスタバンク3の時のXAレジスタにHLレジスタの値が表示されることがあります。 <p>(4)SPRウインドウ</p> <ul style="list-style-type: none"> プログラム実行により設定されるSPRの値が反映されません。(プログラム実行によるSPRへの実際の設定は、行われています。) 		-	-	-	-
6	ASM-97-095	PC - 98版においてRS232Cの速度を低いボーレートで使用する場合、ファイルのダウンロードを行うとハングアップする事があります。		-	-	-	-
7	ASM-98-042	7文字以上のデバイスファイル使用時に、CNF情報読み込み起動を行うとシステムエラーが発生して、デバイスが落ちます。			-	-	-
8	ASM-98-042	SPRウインドウにおいて"SPRの再表示機能"の追加。("SPRの再表示"を実行することでSPRウインドウの表示値を更新します。)			-	-	-
9		一番目にウォッチ登録した変数をリアルタイムRAMサンプリングで表示させるとデータメモリ - と異なる値を表示する場合があります。				-	-
10		スタンバイモード解除後、ハングアップする場合があります。				-	-
11		CPUクロックが早いパソコン(Pentium150MHz以上)でボーレート38400bpsを使用するとハングアップする場合があります。					-
12		スタンバイモード中、データメモリウインドウをアクティブにするとハングアップする場合があります。					-
13		IBM-PC互換機ノートタイプで通信できない機種があります。					-

- : No problem

: Bug (Corrected by version upgrade)

x : Bug (Not corrected by version upgrade)